

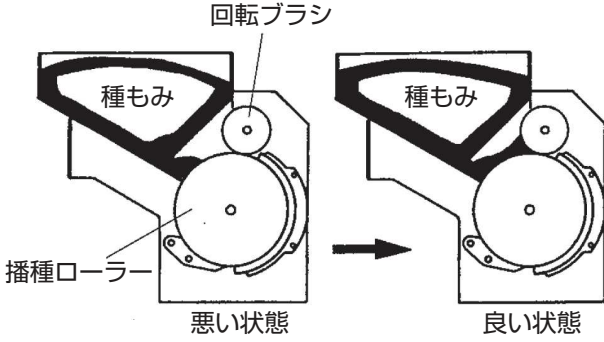
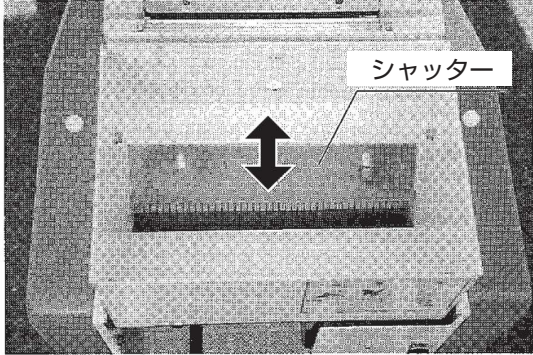
播種機故障の診断と処置

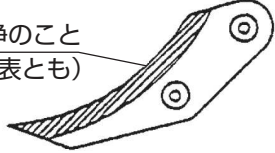
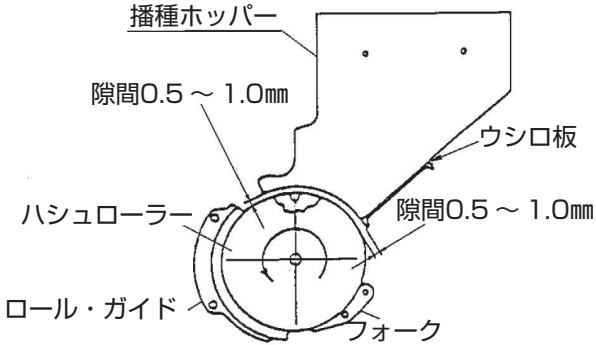


使用中、下表の様なトラブルが発生した場合は表に基づいて適切な処置をしてください。

現象	原因	処置
モーターが動かない	(1)電源コードの入れ忘れ。 『メインランプ消灯』 (2)メインスイッチが「ON」になっていない。 『メインランプ消灯』 (3)センサコードの接続が適切でない。 『メインランプ点灯』	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用AC100V に接続する。 ・スイッチを「ON」にする。 ・取扱説明書「センサコードの接続」を参照ください。
水の出が悪い・水が出ない	(1)メイン、カンスイの各スイッチが「ON」になっていない。 (2)水道の蛇口が開かれていないか、水道ホースが曲がっている。 (3)灌水ノズルが詰まっている。 減圧弁内のストレーナーが目詰まり。	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスイッチを「ON」にしてからカンスイスイッチを「ON」にする。 ・水道の蛇口を開き水道ホースの曲がりを直す。 ・同梱のノズルブラシで掃除をする。ノズルの穴を針などで掃除をする。 ・キャップを外し、中にあるストレーナーを清掃する。 <div data-bbox="922 925 1345 1288" data-label="Diagram"> </div>
	(5)ウォーターバルブの目詰まり。 ① フィルターの目詰まり。 ② ダイヤフラムの目詰まり。	<ul style="list-style-type: none"> A. 減圧弁を外し、フィルター(金網)を引き出し、清掃する。 B. 「A」の処置をして、メイン・カンスイスイッチを「ON」にしたとき、ウォーターバルブは「ピー」と音がするのに水が出ない場合は、ウォーターバルブを分解してダイヤフラムの3つの穴(矢印部)を清掃する。 <div data-bbox="231 1608 751 2040" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="906 1682 1394 2069" data-label="Diagram"> </div>

現象	原因	処 置
メインスイッチをONしても搬送モータが回らない	<p>(1)電源電圧が印加されていない。</p> <p>(2)オートセンサ(落下防止センサ)が作動している。</p> <p>(3)過負荷。</p> <p>(4)搬送モータの焼損。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源電圧が100±5Vであることを確認する。 ・播種機電源コードがコンセントに接続されているか確認する。 ・オートセンサのマイクロスイッチの組み付け角度を調節し、非検知時は確実にOFFになるようにする。 ・オートセンサのコードと播種機のコードが接続されているか確認する。 ・負荷の原因(異物、チェーンの凝固等)を除く。 ・モータを交換する。
作業中搬送が停止してしまう	<p>○電圧降下による電源電圧の低下。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源電圧が100±5Vであることを確認する。 ・タコ足配線は避け、播種機の電源は建屋コンセントから単独とする。
播種ローラーの動きが悪い・回転しない	<p>(1)ロールガイドと播種ローラーの間に残留種粉があり、ロールガイドに食い込んでいる。</p> <p>(2)播種ホッパー又はウシロイタが播種ローラーに干渉している。</p> <p>(3)播種ローラーのスリワリ溝部(縦溝部)に種粉のカス、土、ゴミ等が溜まり負荷になっている。</p> <p>(4)フォークにゴミ等が付着して負荷になっている。</p> <p>(5)フォークが変形し、播種ローラーに食い込んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールガイドを外し、清掃をする。ロールガイドが破けた場合は交換する。 ・播種ホッパー、ウシロイタと播種ローラーの間を0.5～1.0mmに調整する。(取扱説明書参考) ・スリワリ溝部をカッターの刃がない方、または、薄い金属板で全て掃除する。 ・フォークを取り外して掃除する。 ・フォークを交換する。
ノズルの中に空気が入る	<p>○薬液吸込口のホースノズルにキャップがされていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップをする。又壊れている物は新品と交換する。

現象	原因	処 置
播種ムラになる	<p>(1)ブラシの手前に種もみがない。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホッパー内のシャッターを開く。 
	<p>(2)種もみの処理が適切でない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書「運転前の準備（1）種モミの処理」のページを参照ください。
	<p>(3)回転ブラシの平行がでない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回転ブラシのシャフトを固定している軸受板を調整する。
	<p>(4)種粉の水分量が不適切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脱水を十分に行い、その後陰干しして乾燥させる。（手で握って離れた時、手に付かない程度）
	<p>(5)種粉の脱芒、芽出しが不適切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・種粉の状態は取扱説明書を参考。
	<p>(6)播種ローラーとロールガイドの間隔が開き過ぎて、播種ローラーの溝に種粉が入らない。 (7)播種ローラーにロールガイドが密着しているため、播種ローラーがスムーズに回転しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・播種ローラーとロールガイドの間隔が0～0.5mmになるように調節する。（ロールガイドが播種ローラーに軽く触れる程度）
	<p>(8)ロールガイドが破けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールガイドを交換する。
	<p>(9)播種部回転ブラシの平行が出ていない。 （左右で高さが異なる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・播種部回転ブラシが平行になるよう調節する。（取扱説明書参考）
	<p>(10)播種部回転ブラシの毛先が摩耗している。 又は毛が絡んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・播種部回転ブラシを交換する。
	<p>(11)播種ホッパー内のシャッターの開度が小さく、播種ホッパー内に種粉が入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッターを広げてホッパー内に種粉を流す。
	<p>(12)播種ローラーの動きが悪い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・症状：「播種ローラーの動きが悪い。回転しない。」の項目を参照。
	育苗箱の片側だけ厚播きになる	<p>(1)播種部回転ブラシの水平が出ていない。 （左右で高さが異なる） (2)播種機の水平が出ていない。</p>
厚育苗箱中央になる	<p>(1)種粉の水分量が不適切。 (2)播種部回転ブラシの摩耗、毛の絡み。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脱水を十分に行い、その後陰干しして乾燥させる。（手で握って離れた時、手に付かない程度） ・播種部回転ブラシを交換する。

現象	原因	処置
ハシュローラーの動きが悪い(動かない)	<p>(1)ロールガイドとハシュローラーの間に残量種もみが有ってロールガイドに食い込んでいる。</p> <p>(2)フォークとハシュローラーの溝の間に土又はゴミ等が付着して滑りが悪くなっている。</p> <p>(3)①播種ホッパー、ウシロ板とハシュローラーが接触している。 ②播種ホッパーとハシュローラーの隙間が約1.5mm以上あって種粉が挟み込まれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールガイドを外し両方とも清掃する。 ・ロールガイドが破損している場合は交換する。 ・フォークを取り外し、フォーク部及びハシュローラーの溝部の付着物を取り除く。 (組付の際、フォークがハシュローラーに接触しないこと) <p>溝に入っている部分を洗浄のこと (裏表とも)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・播種ホッパーを取付けているボルトを緩めて隙間が約0.5～1.0mmになるように再調整する。 
土が安定して供給されない(コンベアベルトが時々止まる)	<p>(1)コンベアベルトの張りが緩く、スリップしている。</p> <p>(2)コンベアベルト駆動用のVベルトがスリップしている。(クラッチ式、Vベルト使用機種限定)</p> <p>(3)光電センサが育苗箱の通気孔に反応し、誤作動している。(播種プラント、床土部限定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベアベルトの張りを強くする。(取扱説明書参照) ・ホッパーを進行方向側にずらして、駆動用Vベルトの張りを強くする。 ・光電センサの位置を通気孔を避けるよう調整する。
土が均平にならない	<p>(1)播種機の水平が出ていない。</p> <p>(2)土の繰り出し量が少なく、回転ブラシが作用していない。</p> <p>(3)土の繰り出し量が多く、回転ブラシで土が持ち返ってしまう。</p> <p>(4)回転ブラシ、スミトリ装置の高さが適切でない。</p> <p>(5)スミトリ装置が床土に干渉し、土を引いている。</p> <p>(6)回転ブラシ部軸受、チェーンの固着により回転ブラシの動きが悪くなっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・播種機の前後左右が水平になるよう脚部のノブボルトを調整する。 ・土入れホッパーのシャッター開度を大きくする。 ・土入れホッパーのシャッター開度を小さくする。 ・回転ブラシ、スミトリ装置の初期設定を使用する箱の高さに合わせ、双方同じカキトリ量に合わせる。(取扱説明書参照) ・スミトリ装置初期設定時、箱よりも1～2mm程度高くなるよう設定する。(取扱説明書参照) ・軸受部、チェーンに注油する。
箱の縁が取れない(進行方向前側)	<p>○スミトリ装置の高さが適切でない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する箱の高さに合わせ、スミトリ装置の初期設定を行う。